

障害者雇用または職場実習生 受け入れをお考えの企業の方等へ

長崎県CSR通信
～ 第105号 ～

リユース処理を施したノートパソコンを宮城県内の県立高校に寄付するなど社会貢献に積極的なジブラルタ生命保険株式会社様。

長崎市出島町にある本社長崎オフィスでは、障害のある方を多数雇用しておられます。今回は、障害者を雇用するに至った経緯や現状等について、同法人ファンクショナルチームリーダー安村様にお話を伺いました。

～ 障害のある方を多数雇用 ジブラルタ生命保険（株） ～

障害者雇用をするようになったきっかけは。

安村様「弊社では“多様性の受容”つまり一人ひとりが持つ様々な違いを受け入れ、それぞれを価値として活かすことで、企業の競争力に活かすことに力を入れております。

例えば、女性社員の活躍の推進や、各種ライフイベント（育児、介護等）に対するサポート施策の検討など、異なる意見・価値観が湧出し、結果、全社員が働きやすい会社になることで、お客様のために真に役立つ生命保険をお届けできると確信しています。その中の一つとして、障害者の雇用推進は極めて重要であると認識しているからです。」

全国、長崎での従業員数、また障害者人数を教えてください。

安村様「全国の本社社員従業員数は4,162名で、うち、163名の障害者を雇用しています。本社長崎オフィスでは、社員従業員数524名、うち、身体障害や知的障害等のある方を24名雇用しています。」

障害者の業務内容、働きぶりはいかがですか？

安村様「最も障害者が活躍しているファシリティチームを例に挙げると、主に社内便・郵便の受発信、ビルの管理業務を行っています。同チームは昨年7月1日に発足し、全員同期入社という事もあり、やりがいを持って生き生き働いています。

事務部門に就業している障害者スタッフの中には、他のスタッフと変わらず、コールセンターのオペレーターをしている方もいれば、生命保険の各種変更手続き、保険金お支払業務をこなしている方もいらっしゃいます。」

障害者雇用でご苦労された点は？

安村様「東京本社では聴覚障害者の雇用が最も多く、トレーナーのノウハウもありましたが、長崎では、過去に採用経験がない障害をお持ちの方を多く採用しました。育成ノウハウがない点では非常に苦労しましたが、おかげで今では新しいノウハウを蓄積できました。」

障害者雇用する上で、工夫された点は。

安村様「採用段階では、雇用後のミスマッチを防ぐために、「求めるレベル（どの程度までできればOkか）」を就労支援機関に正しく伝えて、適性のある候補者を多く紹介いただくこと、また、候補者の見極めに苦労しました。

就労後は、弊社の行動指針であるコア・バリューの一つにある“お互いを尊敬し合うこと”にもあるように「みんなで協力して働くことの大切さ」「自分と違う障害を持った人を認めること」を理解してもらうように努めています。」

今後の障害者雇用の計画等については。

安村様「今後も、障害者の方がご活躍できるような職場環境の提供、採用活動を行っていきたいと思います。現在、求人予定はヘルスキーパーのみですが、今後は、事務部門でも積極的に活用できるよう、検討中です。」



取材中も慌しく勤務されていました。

「長崎県CSR通信」 発行部数 2,515部
発行 長崎県障害福祉課
電話095-895-2454
FAX095-823-5082
平成26年2月21日
バックナンバーは「長崎県CSR通信」で検索